



消防大学校だより

■ 新任消防長・学校長科（第18期、19期）

消防大学校では、総合教育において、消防吏員として消防事務に従事した経験がない一般行政職から消防長や消防学校長に任命された方を対象として、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させることを目的に「新任消防長・学校長科」を設置しています。

平成27年度新任消防長・学校長科においては、第18期学生14名（平成27年4月14日～24日）、第19期学生34名（平成27年5月11日～21日）が、消防大学校での11日間の全寮制の集合教育を終え、卒業しました。

研修では、消防庁長官をはじめ、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、全国消防長会長による消防長としての役割を主題とした講話、各人が抱える課題についての討議、訓練礼式、そして危機管理広報等を通じて、組織のトップとしての職責を認識するとともに心構えについて学びました。

また、災害現場の指揮シミュレーション訓練を実施後に、東京消防庁教育支援隊による大隊訓練の見学を行い、大隊長が火災現場で行う指揮と各隊員の活動を理解するとともに、指揮者の状況判断と命令の難しさ、指揮隊の重要性等の理解を深めました。

研修を終えた学生からは、「消防業務の重要性、消防長・学校長としての職責の重さについて、あらためて認識を深めることができ、充実した研修であった。」等の意見が多く寄せられたところです。

今後は、一般行政部門の幹部職員としての経験に加え、消防大学校で学んだ知識・技術を活かし、消防組織の長として消防防災体制の発展に向けて、大いなる活躍が期待されます。



坂本消防庁長官による講義（第18期）



大江全国消防長協会会長による講義（第19期）



指揮シミュレーション訓練の様子（第18期）



教育支援隊による大隊訓練の見学（第19期）

緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース (第13回、14回)

消防大学校では、緊急消防援助隊の指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県大隊長又は都道府県大隊指揮隊長である者、各隊長の交代要員として指定される者を対象とした研修課程で、部隊運用、指揮要領及び広域消防応援体制等、その業務に必要な高度な知識及び能力を習得させることを目的に「緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース」を実施しています。

平成27年度の指揮隊長コースにおいては、第13回学生19名（平成27年4月13日～23日）、第14回学生43名（平成27年5月12日～22日）が、消防大学校での11日間の全寮制の集合教育を終え、修了しました。

本コースは、平成26年3月に緊急消防援助隊の編成、施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画（基本計画）及び運用要綱が改正されたことを踏まえ、今年度より教育日数を7日間から9日間に増やし、東日本大震災や昨年広島市で発生した大規模災害の応援・受援体制として、実際に指揮を執られた講師のほか、特殊災害の対

応に特化した部隊として編成されたエネルギー・産業基盤災害即応部隊（ドラゴンハイパー・コマンドユニット）を市原市消防局の協力の下、視察するほか、災害を多方面から解説していただく大学教授等の講師を招聘し、災害全般を学び・考えることができるカリキュラム編成で実施しました。

また、図上訓練として、首都直下地震を想定したシミュレーション訓練を実施し、学生は、受援都道府県消防応援活動本部の指揮支援部隊長、被災地消防本部の指揮支援隊長、緊急消防援助隊の都道府県大隊長等となり、時間経過とともに付与される災害事象の推移、運営要領等、大規模災害等発生時における緊急消防援助隊の出動及び活動について理解を深めました。

今後は、消防大学校で修得した高度な知識と磨きをかけた判断能力に加え、全国の仲間から得た情報を活かし、緊急消防援助隊出場時に今回の研修で培われた成果が大いに発揮されることが期待されます。



首都直下地震を想定したシミュレーション訓練の様子（第13回）



ドラゴンハイパー・コマンドユニット（市原市消防局）の視察（第14回）

問合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712